

8月18日、青森県庁で『ファシリティマネジメント』について、説明を受けました。

ファシリティマネジメント（FM）推進事業	
目的：	行政サービスの向上に努めながらも、できる限り少ない経費で、最適な施設の経営管理を行う手法（県有施設の総合的・戦略的な <b>経営管理</b> を行う）
必要性：	県の施設の老朽化、それに伴う維持・保全が必要な上、厳しい財政の中、膨大な県の施設をいかに効率的に管理するか。
方法：	県の施設・設備などを経営資源としてとらえ、 <b>経営的視点に基づき、総合的・長期的にコストと便益の最適化</b> を図りながら、財産を <b>戦略的かつ適正に管理・活用</b> 。

FMとは、組織活動のために施設とその環境を総合的に企画、管理、活用する経営活動。千葉では佐倉市で取り組みが行われているようです。

### 【青森県の取り組み】

H13年度	FMを取り入れた総合的な管理手法の検討に入る
14年度	FMを活用した県有施設の効果的な管理運営手法の導入に関する調査
15年度	提案者が自ら実施する『庁内ベンチャー制度』が提案、採択される
16～17年度	FM導入推進事業に着手。 (例：清掃業務を一括委託→2年間で約2億6千万円削減)
18年度	行政経営推進室FM推進事業として事業推進。(担当：5名)
19年度	FM推進事業を継続。 県有財産管理を統括すし、全庁的な調整をする『 <b>財産管理課</b> 』(横向きのつながり)を新設し、一括管理し、推進を強化。 20名

### 【FM推進事業とは】

- ① 県有施設の縮小  
 利用効率・性能が高い → 維持  
 利用効率・利用価値低い → 積極的売却 (宅地宅建業者に業務委託)
- ② 維持する施設を効率的に活用  
 例：オフィススタンダード (職員のスペース@7㎡に調整)
- ③ 長寿命化を図る (30年ぐらいを目処に将来的にどれぐらい費用がかかるか見通して管理する)

これも、大きな変革だと思います。

従来は部局の縦割りであったが、横向きも組み合わせている  
 例：海洋学院→廃止→漁業整備事務所  
 学校の廃屋→町の保育所



(青森県議会議長席にて)

青森ヒバを使用した議場。窓は障子の明り取り。



(青森県職員から話を聞く)



(青森県議会議場にて)



千葉県もFMを採用して、県の保有財産を効率よく管理できたら、赤字も少しは減るのではと思います。しかし、不正経理日本一の千葉県では、公平な入札が行われるシステムを整えることも必要になると思います。